

東京都知事宛 要望書（案）

東京都知事 小池百合子 様

日頃より東京都の子育て・教育環境の向上にご尽力いただき、心より感謝申し上げます。

この度、都内で子育てをする保護者や関係者から寄せられた声をもとに、下記のとおり要望を取りまとめました。子どもたちが安心して健やかに成長できる環境整備のため、ご検討をお願い申し上げます。

【要望事項】

1. 学校生活と安全の充実

- 猛暑期の登下校における熱中症対策として、日傘やネッククーラー等の使用を柔軟に認めること。
- タワーマンション入居等に伴う児童数の急増に対し、年度途中でも教員配置や学級編成を柔軟に対応できる仕組みを整備すること。
- いじめ問題や教員による不祥事に対し、隠蔽防止・厳正な処分・更生支援の仕組みを条例等で強化すること。
- 登下校時の見守り活動について、保護者やPTAだけでなく、行政・学校・警察が連携し、サポート体制を強化すること。

2. 居場所・学童保育の拡充

- 放課後や長期休暇中に利用できる「涼しく安心して過ごせる居場所」を増やし、発達に特性のある子どもも安心できる環境を整備すること。
- 学童保育を小学4年生以降も利用可能とするなど、就労家庭への支援を拡充すること。
- 夏休み等の長期休暇中も給食を提供できる仕組みを検討すること。

3. 教育環境の改善

- タブレット学習の在り方を見直し、紙ベースの学習機会を増やすなど、子どもの発達段階に応じた柔軟な教育手法を導入すること。
- 少人数学級や教科担任制の導入を進めること。
- PTA活動の在り方を見直し、保護者への過度な負担を軽減すること。
- 校内設備・トイレ・音響設備などの老朽化した施設や備品への予算を拡充し、子どもたちが安全・快適に過ごせる環境を整備すること。
- 老朽化した校舎の立て直しや児童数増加に伴う教室不足の改善を進めること。

4. 多様な子どもへの支援

- 発達に遅れがある子どもだけでなく、高い知的能力や早い発達を示す子どもへの支援制度を整備すること。
- 外国にルーツを持つ子どもが円滑に学べる環境を整えると同時に、日本語教育や生活習慣の理解を適切に支援する仕組みを設けること。

5. 将来を見据えた学び

- 子どもたちが将来豊かに生活できるよう、金融リテラシー教育を小中学校から導入すること。

以上、多様な立場から寄せられた声を要望として取りまとめました。

東京都におかれましては、ぜひ現場の声を踏まえ、子どもたちが安心して学び・育ち・将来に希望を持てる社会づくりを進めていただきますようお願い申し上げます。